

Central Weekly Market Report

2026年2月20日

セントラル短資株式会社 総合企画部

今週（2月16日から2月20日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの資金調達ニーズが旺盛ななか、出合いの中心は0.72%台での推移となった。季節要因として、付利金利を上回る水準で試し取りを実施する先が複数見られたことで、16日(月)～19日(木)までの加重平均レートは、0.728～0.73%とやや高めに推移する展開となつた。20日(金)は、3連休前の4日積みとなつたことから、通常の取引を中心に落ち着いた地合いが継続された。

ターム物は、年度内物を中心に、0.8～0.9%程度で出合いが見られた。年度末越えとなるロングターム物では、オファーが閑散となるなか、レート水準は日を追うごとに上昇し、ビッドサイドの一部からは1%を超える水準でもニーズが見られる展開となつた。

今週の日銀当座預金残高は、462兆円程度からスタートした。その後は国債発行などを主因にやや減少する展開となつた結果、20日(金)は460兆円程度での着地が見込まれる。

●債券レポ市場

今週のGC O/N物は0.74～0.755%近辺で推移した。

SC取引では、カレント近辺の銘柄に引き合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーン、6Mゾーンが堅調に推移した。

19日(木)に実施された1Y物入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーでも横ばいで推移した。

20日(金)に実施された3M物入札はテールが流れる結果となつたが、結果発表後のセカンダリーでは底堅く推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、小売、卸売、ガスなど複数の業態で大型発行が見られた。

市場残高は、週を通して26兆円台半ばで推移した。

発行レートは、期間が短い発行はレート目線が落ち着いている一方、期越え物など長めの発行については投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り(%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
2/16 (月)	56,806.41	2.210	153.08	0.728	0.750	4,616,200
2/17 (火)	56,566.49	2.125	153.30	0.730	0.746	4,622,500
2/18 (水)	57,143.84	2.135	153.20	0.728	0.746	4,586,400
2/19 (木)	57,467.83	2.140	154.70	0.728	0.750	4,598,600
2/20 (金)	56,825.70	2.105	155.15	0.729	0.750	4,602,100

来週（2月23日から2月27日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

		国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
2/23 (月)	天皇誕生日			12月の米製造業受注
2/24 (火)				12月のS&Pケース・シラー住宅価格指数 12月の米卸売上高
2/25 (水)	1月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50) 1月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)		流動性供給 2/26発行 2,500億円	2月の米CB消費者信頼感指数 1月のユーロ圏消費者物価指数改訂値
2/26 (木)	高田日銀審議委員 京都府金融経済懇談会における挨拶 12月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)			
2/27 (金)	2月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 1月の商業動態統計速報(経済産業省 13:30) 1月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 13:30) 1月の住宅着工件数(国土交通省 14:00)	TDB3M 3/2発行 47,000億円	2Y物 3/2発行 28,000億円	1月の米生産者物価指数 2月のシカゴPM景況感指数 11・12月の米建設支出

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/23 (月)									
2/24 (火) 日銀予想	▲ 300	▲ 7,100	▲ 7,400	国債補完	3,800		3,800	▲ 3,600	TDB3M発行▲47,000 債還43,000
2/25 (水) 弊社予想	1,000	6,000	7,000				0	7,000	国有林野借入▲950 債還960
2/26 (木) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 2,000	▲ 3,000				0	▲ 3,000	流動性供給▲2,500
2/27 (金) 弊社予想	▲ 800	9,600	8,800				0	8,800	特別法人事業譲与税譲与金の払い 交付税借入▲12,500 期日10,500

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き堅調な資金調達ニーズが見込まれるなか、試し取りの影響もあり、やや上振れることも想定されるが、概ね0.727%前後で推移することが予想される。債券レポ GC T/N物のレートは、0.74～0.76%前後の水準で推移することが予想される。短国市場は、27日(金)に3M物入札が予定されている。CP市場は、月末発行を控え、事業法人の発行動向やレート水準が注目される。

主要なイベントは、国内では26日(木)に高田日銀審議委員 京都府金融経済懇談会における挨拶、27日(金)に2月の都区部消費者物価指数、1月の鉱工業生産・出荷・在庫速報、海外では、23日(月)12月の米製造業受注、25日(水)に1月のユーロ圏消費者物価指数改訂値、27日(金)に1月の米生産者物価指数などの公表が予定されている。

(※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。)

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘導することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入